



STARS

校訓 自立・共生

～生徒教師が対話を通して
信頼し合い、ともに笑顔
と活気に満ちた学校～

令和6年(2024)

10月15日(火)

第12号 発行

発行者 校長

スイスイタイムで学力向上を目指そう

～毎週水曜日の朝の15分、集中して取り組んでいます～

本校の課題として「読解力」(一般的には文章を正確に理解する力)が挙げられます。南風原町教育委員会では「読み解く力」の育成を市内小中学校に学力向上の共通実践として取り組んでいます。この取組は、「教育の科学研究所」代表理事・所長で、「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」「AIに負けない子どもを育てる」の著者である新井紀子が提唱するRS「リーディングスキル」が土台になっています。本校では、町の提唱する「読み解く力」を育てる土台として新井先生が提唱しているRSトレーニングを導入し、スイスイタイムとして全生徒で取組をスタートしました。「スイスイノート」は本校で作成し、生徒たちも朝のひとときを集中して取り組んでいます。中学校の教科書は小学校の教科書より格段に語句も文章量も増えます。取組自体は音読、視写を中心としていますので簡単に取組めます。学校では週に1回ですが、この取組を「家庭学習」でも取り組むことで効果が上がることを期待しています。

お家でもやってみませんか?希望する生徒は学級担任に申し出てください。
家庭学習用の「スイスイノート」を渡します。

スイスイノートで身につく力



1 学力が伸びる!

内容を読み、正確に速く書くという学力の基礎の力が身につく。

2 集中力が高まる!

情報を見つける、速く正確に書くこととすることで集中力が身につく。

3 自己管理能力が高まる!

自分の力を把握し、必要なトレーニングを知り、継続することで自己管理能力が身につく。



全国標準目標 1年生:70字 2年生:80字 3年生:90字

スイスイノートのやり方

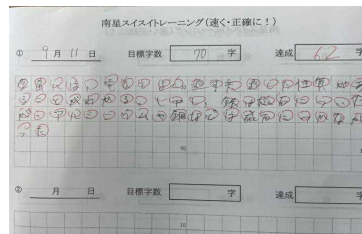
- 1分分で視写したい文字数の目標を立てる。
- 指定した教科書等のページを素早く開く。
- 注目すべき箇所を素早く見つけ、指さす。
- 該当箇所を黙読し、思い出す。
- 該当箇所を音読する。
- タイマーで1分測り、該当箇所を視写する。
- 隣の人と交換し、視写内容を色ペンでチェックする。
- 8元に戻し、正しくできた文字数を記録する。



福島の中学生の感想

- 黒板の字を写すときも「ばっ」とみても読み山字を書けるようになった。
- 一気に字を書けるようになって効果が目に見えてすごく嬉しい!
- 文の切れ目や文の意味を理解できるようになった。
- 文章の理解力が確実に高まって、社会と理科の点数が上がった!

←RS先進地の福島県の生徒のコメント



10月8日の授業参観に来校いただき、ありがとうございました!

来校者 43名
(受付簿より)



南風原慰霊祭に参加しました。

本校からは校長と生徒会長が出席し、16時から役場で本校の平和学習委員会のメンバーが堂々とこれまでの平和の学びを発表しました。



ボランティア委員頑張っています!

10月13日サンエー津嘉山サイトで赤い羽根募金活動をしました!